

8月大雨 岡田地区の被害状況

また、塩倉では民家の裏山が一部崩れ土砂災害の恐れがあるとし消防団が対応に追われていました。

また、塩倉では民家の裏山が一部崩れ土砂災害の恐れがあるとし消防団が対応に追われていました。

(塩倉 浅輪克裕)

8月13日から15日の夕方まで降り続いた雨は西日本を中心に全国に被害をもたらしました。

松本市内にも被害が出てここ岡田地区にも一時避難指示が出るなど不安な時間を過ごした方も多かったと思います。

岡田公民館が避難所として開放されていましたが避難された方はいなかったようです。

ウォーターフィールドも水がいつぱいになり、ひばり池や田溝池では用水路が溢れ周囲の道路や畑が冠水するなどの被害が出ました。

【消防団からのお願い】
地域で活動する消防団ですが個人からの要請に応じることができません。今回のような災害の時には119番で消防署にご連絡をお願います。



①東区。大雨の時は毎回危険な水位に達する。

撮影8/15



②田溝池西側。遊歩道より土砂が流れ出す様子。山から大量の水と共に土砂が流れ、水は田溝池へ流れ込む。

撮影8/15



③塩倉地区土砂崩れ箇所。住宅の近くで複数個所の土砂崩れが確認され、消防団により保守作業が施された。

撮影8/16



④松岡ウォーターフィールドに水が溜まったが、まだ満水ではない。撮影8/14夕方



⑤ウォーターフィールド平常時。撮影8/21

岡田希望の家 (就労継続支援B型事業所)
松本市大字岡田町480-8 電話 0263-46-3320
岡田希望の家では資源物のリサイクルを行っております。
雑誌、新聞、段ボール、牛乳パック、アルミ缶等
24時間いつでも持ち込みOKです。
どうぞご利用ください。
※「館報おかだ11月号」では岡田希望の家の特集を予定しております。

7月号訂正の
お知らせとお詫び
7月末に配布いたしました「館報おかだ7月30日号」の記載内容に誤りがございました。
岡田音頭譜面上部の作詞者の部分について、ご指摘を受けました。つきましては、左記の通り訂正をさせていただきます。
誤「作詞 百瀬千鳥」
正「歌詞代表選者 百瀬千鳥」
※編集委員会では平成19年出版の「館報おかだ合冊版」を参照いたしました。その記載に誤りが有ったようでした。
ご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

館報
おかだ

令和3年9月1日現在

世帯数	: 3,188 戸
男	: 3,524 人
女	: 3,678 人
計	: 7,202 人

夏から秋にかけてはガマの穂が、きりたんぽこフラックフルトの様に、ティクアウトできないの。いやいや一番うるさい奴を忘れておったわい。ウシガエルの親分じゃ。毎晩泣きよつて、昔、食用で食べられてたそうなの。今は「だいじょうぶだ」と泣きよるんだよ。

横には丘が有り津島社があったの、その昔、疫病退散を祈り愛知県の津島社から分祀(ぶんし)した。地元では津島様といい、9月に塩倉・神沢・矢諸3地区池水利組合等祭礼をおこない、脇でシートを広げて神様のお神



塩倉池全景

酒をいただくのじゃ。この間まで大きな松があつたんじやが、松くい虫にやられて伐採されてしまつて、その後桜の木が植えられて将来池を眺めながらお花見が楽しみじやの。

早くコロナ退散をみんなと一緒に祈り世の中を明るくしてほしいの。

その隣に親子連れ専門グラウンド(ちよつと豪華なキャンプ)ができるんじや。モンゴル放牧民の移動式居住ゲルに宿泊しながら、五右衛門風呂をわかしたり等いろいろ作つて子供たちが池の周りで遊ぶのじやよ。

毎週活躍が期待されるが、金メダル候補のごみステーションじや、建物はネットですぐ覆われ屋根付き風通しが良く年間を通じて活躍している。皆が大切に使用して岡田一番の自慢のおらが自慢のステーションじや。

そうそう、太鼓をたたく音がするの、防音室を備えたスタジオが有るのじや、ドラムのスタジオだぞ？東京からプロが来てレッスンしてらっしゃる。

丘の上には松塩筑の介護施設があるの、職員さんが坂道を忙しそうに駆け上がつて行くわ。

(塩倉地区 柳澤 宗義)

岡田
ほっとニュース

絶景かな！
不変景色・塩倉

●塩倉●

2020年3月。今までの世界が一変してから1年半が過ぎようとしています。

人ごみを避け、出かけられず学校も休校、可能な場合は仕事も自宅です。

突然、沢山の事が制約され始めました。あれから短期間で至る所に常識の変化が生まれ、子供たちの学習にも影響がありました。今では1人1台パソコンが配布され、オンライン授業も可能な状況になってきています。

今年の夏休みの過ごし方

小中学生のみなさんは、今年の夏休みはどのようにすごしましたか？家でお手伝いをした人、勉強をがんばった人、またはテレビでオリンピックをうんてんした人もいないでしょうか？

きょう年に続き、新型コロナのせいで、予定のイベントが次々と中止になってしまい、家やきんじよですぐした人が多いのではないのでしょうか？ここ岡田地区でも毎年せいでいに行われる「おかだ夏祭り」や女鳥羽川の「川で遊ぼう」が中止になり、松本市では「松本ぼんぼん」や「OMF セイジ・オザワ松本フェスティバル」なども中止となりました。



楽しいドラム体験・2年生
「カッコいいからやりたかった！」
保護者「8ビートを打つ顔つきが真剣で、実際のドラムに触れさせて良かった」

お手伝い・4年生
常会内公園の早朝の草刈り！
頑張りました



川遊び・3年生
▲サワガニ ▶アブラハヤ

編集後記： 同じテーマでも岡田に住んでいる期間の長短で感覚が違い色んな意見が出るのが面白いと感じます (A)

2020年3月。今までの世界が一変してから1年半が過ぎようとしています。

人ごみを避け、出かけられず学校も休校、可能な場合は仕事も自宅です。

突然、沢山の事が制約され始めました。あれから短期間で至る所に常識の変化が生まれ、子供たちの学習にも影響がありました。今では1人1台パソコンが配布され、オンライン授業も可能な状況になってきています。

市のモデルクラスになつてい た息子は、学校からパソコンを持ち帰ってきて、自宅と教室をオンラインで繋ぎました。親はちゃんと繋がるかドキドキでしたが、虫を捕まえたり、お友達のお家のワンちゃんのお散歩に同行させてもらったり、お野菜をご近所さんから頂くことも多く、親子共々、楽しい夏を過ごせていることに気づきました。人と人の関係が温かく、こんな世の中でも、子供らしく笑つて過ごせる岡田ならではの環境に改めて感謝です。

生活雑記
コロナ禍で
東区 堀江ひとみ